



7月4日(火)、「平成29年度 第1回移行支援ネットワーク会議(湯沢雄勝ブロック)」が本校で行われました。私たちが住む地域には、地域で自立した生活を送るためのいろいろな「応援団」(※)がいて、様々なことを一緒に考えたり、協力したりしてくれます。今回の会議では、地域の「応援団」と高等部3年生とその保護者が直接会って話をすることができました。

会議では、生徒や保護者からの質問や悩みを「応援団」の方々が丁寧に分かりやすく答えてくださいました。特に生徒からは、将来に関する具体的な質問が出て、自立に向けての真剣な思いが伝わってきました。今回の「ステップ」では、その会議で出された質疑応答を抜粋して紹介します。

(※) 今回参加していただいた「応援団」は次の方々です。(敬称略)

機関名	役職名	氏名
湯沢公共職業安定所	雇用指導官	菅野 敦寛
湯沢市役所 福祉課 障がい福祉班	主任	福嶋 琢哉
羽後町役場 福祉保健部	主事	黒澤 秋穂
湯沢雄勝障害者就業・生活支援センター ばあとなあ	センター長	後藤 則男
やまばと園 相談支援事業所	相談支援専門員	小玉 潤弥
ばあとなあ 相談支援事業所	相談支援専門員	佐藤 崇博
	相談員	高橋 絵里香
障害者総合支援事業所 松風	相談支援専門員	得平 好美
	生活支援員	築瀬 久
カメラーデン 相談支援事業	管理者	泰松 浩洋
ひばり野園 相談支援事業	相談支援専門員	佐藤 龍虎
愛光園 相談支援事業所	相談支援専門員	高根 佑太
ひだまり 相談支援事業	相談支援専門員	石川 朗
皆瀬更生園 相談支援事業	相談支援専門員	兼子 守
相談支援事業所 五輪坂ひなげしの里	リーダー	高橋 亜弥
ワークセンターゆざわ 相談支援事業所	相談支援員	今野 恵智子
みらいの家 相談支援事業所	相談支援専門員 兼 副管理者	古内 裕香子

《生徒から》

Q. 「就労A」の事業所は、どんな所がありますか？また、どんな人たちを求めていますか？

A. 【ひだまり】

作業種目によっては、求めている人材が違うと思いますが、共通して求められる人は、自分のことは自分でできる人、教えられた作業だけでなく自分で気付いて作業できる人です。

【カメラーデン】

作業種は色々なものがあります。今、「就労A」で働いている人は、弁当作りや食品関係の方も任せられています。県南では、食肉製品製造業(ハムやソーセージを作る事業所)として、嶋田ハム、田園ハムと、カメラーデンの法人で運営している工房くまごろうの3カ所があります。また、木工の作業は、機械が使える人が求められます。

Q. もし、働いている会社が倒産したり、クビになったりしたら、どこに相談すればよいでしょうか？

A. 【湯沢公共職業安定所】

まずは、ハローワークに相談に来てください。クビのことを「解雇」と言います。今どういうことが起きているか話を聞かせてもらい、ハローワークに登録します。ハローワークには色々な係があるので、その人たちが会社の方へ手続きをします。「雇用保険」という制度も利用できます。

Q. お金をどうやって貯めていけばいいですか？

A. 【みらいの家】

お小遣い帳を活用して、自分がどれだけ使っているか把握します。そして、給料をもらった時点で、毎月いくら使うかよせておきます。買う時に本当にこれが必要かよく考えることも大事です。

Q. 卒業後の進路について迷っています。どうすればよいでしょうか？

A. 【ひなげしの里】

今自分が一番してみたいことをもう一度考えてみてはどうでしょうか。先生やお家の人から色々なアドバイスをもらうかもしれませんが、「自分がしたいことは何なのか」それを軸に進路を考えてみては、どうでしょうか。

【皆瀬更正園】

実際に自分の目で事業所を見に行くことも一つだと思います。周りに相談できる人がたくさんいるので、相談して、そして最後には自分で決めてほしいと思います。

Q. 仕事でスピードアップするコツを教えてください。

A. 【ワークセンターゆざわ】

まずは仕事に慣れることが一番です。最初はスピードよりも丁寧さを大事にしてほしいです。丁寧にやることを続けているうちに、段々手が慣れてきて、スピードがついてきます。

#### ＜保護者から＞

Q. 将来、グループホームの利用も視野に考えています。グループホームについて教えてください。

A. 【みらいの家】

みらいの家では、女性5部屋で、精神障害・知的障害・身体障害の方々が入居しています。世話人の方がいて、入居者同士仲良く生活できるために、入居者の仲介や見守りを行っています。苦手なことは一人ずつ違いますので、調理、掃除、お金の管理など毎日の生活に必要なことを少しずつ身に付けていきます。グループホームでの生活は1つのステップとして考えていただければと思います。また、体験入居も可能ですし、無理のないように日帰りから始めて日数を増やしていくこともできます。

【ばあとなあ】

ばあとなあでは、男性5部屋、女性5部屋ですが、現在空きはありません。

Q. 卒業までに一般就労が決まらない場合は、どうしたらよいでしょうか。

A. 【ひだまり】

まずは福祉施設の就労で1、2年作業して働くことの訓練を受けます。毎年、10月半ばに障害者の就労の面接会がありますので、そこに行って本人が希望する事業所の面接を受けたいと伝えます。今すぐ就職できないからあきらめるのではなく、前向きに考えてもらえればと思います。

